

【経済学部】令和7年度 学部教学マネジメント計画書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制

学部長、副学部長、およびカリキュラム委員長の3名で計画し、カリキュラム委員10名で実行する。シラバスチェック等の検証は、カリキュラム委員10名に加えて経済学部教員全員が輪番で行う。

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

①カリキュラムマップ

特になし。

②シラバス

特になし。

③その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）

科目ナンバリング表において、特定分野の科目数に偏りが見られる。

今年度の取り組み

科目ナンバリング表について、分野設定および科目配置を見直す。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化に向けた今年度の取り組み

課題

DP達成度の学生の主観的評価を集計し可視化する。

今年度の取り組み

昨年度に引き続き、授業形態（講義／演習／データサイエンス）ごとにDP達成度の主観的評価を集計し分析する。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況から明らかになっている課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

BYOD化およびオンデマンド授業の導入が経済学部における情報処理教育に与える影響について検証する。

今年度の取り組み

FD活動を通じて情報処理教育とオンデマンド授業の課題について議論・整理し、学習効果を高める方策を教員間で共有する。

| アセスメントプランの取り組み | |
|--|---|
| アセスメント科目名 | 検証方法（在学時） |
| ・経済学入門Ⅰ ・データ分析セミナー ・演習Ⅲ ・演習Ⅳ | <input type="checkbox"/> 外部アセスメントテスト（GPS アカデミック） <input checked="" type="checkbox"/> 学習成果実感調査 <input checked="" type="checkbox"/> GPA <input type="checkbox"/> 在学生調査（在学生生活に関するアンケート） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| | 検証方法（卒業時） <input checked="" type="checkbox"/> 卒業研究・卒業論文 <input checked="" type="checkbox"/> GPA <input type="checkbox"/> 卒業時調査（4年次生調査） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| 取り組み内容（「8つの資質・能力」の達成方法など） | |
| <p>必修科目である「経済学入門Ⅰ」については、成績分布の推移を点検する。「データ分析セミナー」については履修状況と成績分布の調査に加えて学習成果実感調査を用いた検証を行う。「演習Ⅲ」と「演習Ⅳ」については、履修状況および単位修得状況について調査する。</p> | |
| その他 | |
| <p>特になし。</p> | |

※この内容は令和6年度以降、本学における教学マネジメントの一環として、本学HPへの掲載を検討します。